

研究者・芸術家の援助その他一覧（翁久允賞）

公益財団法人翁久允財団

No.	年月日	テ ー マ	氏 名
1	1981. 6. 3	積雪地帯における相隣関係の法律的検討 富山大学経済学部 教授 吉原節夫	
2	1982. 4. 21	各種アルミニウム合金材料の加工技術向上に関する研究 富山大学工学部 教授 時澤貢	
3	1983. 4. 27	和漢薬方剤による糖尿病性神経性疾患治療効果の薬理的解析 富山医科薬科大学 助教授 木村郁子	
4	1984. 4. 25	青少年の野外活動に関する史的研究 ・・・ヨーロッパ・アルプス地方を中心として・・・ 富山大学教育学部 助教授 西川友之	
5	1985. 4. 24	脳血管痴呆患者における赤血球膜のNa-K依存症 ATP0-sIおよびその脂質プロファイルの検討 富山医科薬科大学 助教授 鏡森定信	
6	1986. 4	マイクロ波分光による分子の構造及び分子内運動の研究 富山大学理学部 助教授 常川省三	
7	1987. 4	尿路結石形成抑制効果を指標とした南米産生薬中の活性成分の 検索生薬中の活性成分の検索 富山医科薬科大学薬学部 助手 林利光	
8	1988. 4	カント哲学における物自体の研究 富山大学人文学部 教授 本田弘	
9	1989. 4	プロテインキナーゼC阻害剤のインフルエンザウイルス増殖に およぼす影響 富山医科薬科大学医学部 助手 黒川昌彦	
10	1990. 4	含窒素異項環化合物の合成と生理活性に関する研究 富山大学教養部 教授 塩谷俊作	
11	1991. 4	含窒素生物活性物質のエナンチオ選択的合成の開発 富山医科薬科大学 助教授 高畑広紀	
12	1992. 5	翁久允文書の調査と研究 立命館大学国際言語文化研究会、日本文化研究会	
13	1993. 5	翁久允筆魂その軌跡 稗田堇平	
14	1994. 7	血管内皮細胞を中心とした動脈硬化症発症機序の遺伝 子レベルの解明 富山医科薬科大学 助教授 浦風雅春	
15	1995. 7	アメリカにおける翁久允の文学活動の研究 翁久允研究会(立命館大学国際言語文化研究所)	
16	1996. 5	富山市立図書館25周年記念行事 翁久允文庫開設 富山市立図書館	
17	1997. 5	立山及び越中万葉の史的研究 富山女子短大 客員教授 元富山県立図書館館長 廣瀬誠	

18	1998. 5	「とやま文学」第16号 翁久允特集号「翁久允高志人と国際人のほさま」の刊行 富山県芸術文化協会
19	1999. 2	翁久允胸像修理
20	2000. 7	早百合観音像修理
21	2003. 11	富山市が早百合観音祠堂を名所指定とされた事により門を修理する。
22	2007. 7	翁久允のアイデンティティ ー在米時代に富山の地元紙に発表した評論、論説を中心にー 京都大学人間環境学研究所博士課程 富山大学 非常勤講師 水野真理子
23	2008. 7	「ジョルジェ・エネスク」ヴィオレル・コズマ著の編訳などによるルーマニア音楽の日本への紹介と演奏活動 ピアニスト 竹内祥子
24	2009. 4	地域の出版、情報サービス等の事業展開、地域活性イベントへの参画、地域連携の促進等幅広く活動中 株式会社シー・エー・ピー 代表取締役社長 山下隆司
25	2010. 7	ステンドグラス工芸作品の制作と指導に永年専念し富山県の工芸界発展に寄与 ステンドグラス工芸作家 西島直義
26	2011. 7	情感豊かな彫刻や版画による富山県の芸術文化への貢献 彫刻家 野村修三
27	2015. 3	越中古代の歴史研究に対して 郷土史家 木本秀樹
28	2016. 3	該当者なし
29	2017. 2. 18	高志の国文化に関する書籍を数多く出版し、自らも郷土紙誌を丹念に調査 桂書房 勝山敏一
30	2018. 2. 3	富山県における書誌づくりの第一人者としての郷土史への貢献 書誌作成者 太田久夫
31	2019. 2. 3	富山大学ヘルン研究会主催の講演会ならびに国際シンポジウムを牽引する中心的な存在として、富山県の文化遺産であるヘルン文庫を、国際的・学際的な視野から積極的に活用し、その研究成果やヘルン文庫の存在を、広く普及させている功績 富山大学人文学部人文学科 教授 中島淑恵
32	2020. 2. 16	越中八尾民謡おわら保存会の創設者である川崎順二の残した未整理資料の特定や文献の目録化に協力した経験を活かし、新聞・雑誌、書簡など多くの資料を駆使して、おわら風の盆についての本格的な研究を行った功績。 和光大学表現学部 教授 長尾洋子